

# アミロイド PET 検査に関する説明・同意書

## 1 アミロイド PET 検査について

PET 検査とは「ポジトロン断層撮影法」のことで、全身や脳、心臓などの働きを断層画像としてとらえ、病気の原因や病状を的確に診断する検査です。

アミロイド PET 検査は、アルツハイマー型認知症の診断に有効であるとして、すでに厚生労働省の承認を受けた検査です。最近の研究で、アルツハイマー型認知症を引き起こす原因として、アミロイド  $\beta$  (ベータ) という物質が注目されています。アミロイド  $\beta$  は、健康な人の脳にも存在する物質ですが、何らかの原因により異常なアミロイド  $\beta$  が蓄積され、やがて脳の神経細胞が死滅して、アルツハイマー型認知症を引き起こすという考え方が有力になっています。アミロイド PET 検査は、脳内のアミロイド  $\beta$  の密度を推定することができます。

## 2 検査の概要

アミロイド PET 検査では、 $^{18}\text{F}$ -フルテメタモルという、ごくわずかな放射性同位元素を含んだお薬を静脈に注射します。注射後には 60 分程度安静にさせていただきます。

その後、脳内にお薬が集まる様子を撮影して、アミロイド  $\beta$  の密度を推定します。検査中 (20 分程度) は仰向けのまま動かずにじっとしていただく必要があります。

## 3 アミロイド PET 検査でうける被ばくと副作用について

検査で使用するお薬 ( $^{18}\text{F}$ -フルテメタモル) は放射性同位元素を含むため、投与された人はわずかですが被ばくをうけることになります。1 回の検査で 10mSv (ミリシーベルト) 程度になります。これは、バリウムを用いた胃の検査での被ばく線量とほぼ同じであり、これによる急性の放射線障害が起こることはありません。

お薬の副作用について、発現頻度は 0.5~5%未満で、症状は潮紅、血圧上昇、悪心、胸部不快感、頭痛、浮動性めまいがあります。ごく稀 (0.2%) にアナフィラキシーを起こすこともありますので、フルテメタモルおよびポリソルベート 80 に対してアレルギー反応を起こしたことがある方は検査できません。

## 4 検査前の準備

- ① 水分および食事の制限はありません（絶飲食不要）。
- ② 検査前日・当日の激しい運動は避けてください。
- ③ 来院後、当院で用意した検査着に着替えていただきます。検査着の下に T シャツなどを着用いただいても結構です。金属性の装飾品や金属のついた衣服（ネックレス、ワイヤーの入ったブラジャーなど）、湿布、エレキバン、カイロなども更衣時にはずしてください。
- ④ 検査直前にトイレで排尿を済ませていただきます。待機室での会話は極力避けてください。

## 5 検査後について

検査後は別室にて 40 分ほど休憩していただきます。また、検査後 2 時間程度は妊婦の方や、乳幼児との接触を避けてください。

## 6 安全な検査のために

以下の項目に該当される方は検査前にお知らせください。

- 現在、妊娠中または妊娠の可能性のある方
- 授乳中の方（検査当日は母乳を与えることを避けていただく場合があります）
- 乳幼児がいる方（検査当日はだっこ・おんぶをするのは避けてください）
- これまでに薬を使用してアレルギー反応を起こしたことがある方
- 20 分程度同じ姿勢を保つことが難しい方

## 7 その他

- 当院の個人情報保護方針に基づき、検査データ等を個人が特定できない形で臨床研究・教育・統計等に利用させていただく場合がありますのでご了承下さい。
- PET 検査は多くの精密機器が使用されております。機械のトラブル、薬剤到着の遅延などで検査開始時間が遅れる場合や、検査が行えない場合もありますのでご了承ください。
- 患者様都合による当日の検査キャンセルの場合は、検査薬代を請求させていただきます場合がございますのでご了承ください。

# アミロイド PET 検査に関する同意書

(<sup>18</sup>F-フルテメタモル)

## 【説明医師】

令和 年 月 日 医師氏名 \_\_\_\_\_

## 【患者様】

私は、以上の内容につき担当医から説明を受け、十分に理解しましたので、アミロイド PET 検査の実施に同意します。

令和 年 月 日 患者様氏名 \_\_\_\_\_

代理人氏名 \_\_\_\_\_

患者様との関係 ( )